

第5次朝霞市総合計画後期基本計画 骨子（案）に係る職員コメント回答結果

資料6-3

令和2年2月14日（金）から年3月6日（金）まで実施

番号	見出し等	意見	回答	修正	所管課
1	全般	言い回し、用語の使い方は市民の方が理解しやすい方がよいと思いました。 職員同士、同じ所管部内なら理解できるなどの用語等は見直した方がよいと思います。	文書表現を全体的に見直し、職場でしか通じない法令用語、専門用語は使用せず、市民にとってわかりやすく馴染みがある用語に置き換えました。 最終的には、前期基本計画と同様、計画冊子の巻末資料として用語解説も設けることで、わかりやすい計画となるよう努めてまいります。	有	政策企画課
2	全般	今後、さらに部会で整理していくのかと思いますが、現状と課題について、現状の記載が全くない箇所も気になりました。課題の前に、現状記載はすべてにおいて共通化する等あってもよいかと思います。	一つの中柱に一つずつ現状を記載することを基本としていますが、施策の性質によっては共通の現状認識があり、大柱でまとめて一つの現状を記載しているものもあり、一律には統一しておりません。現状については、課題等の論点がより明確になるかどうかという観点を重視し、施策の所管課の判断により適切な箇所に記載しています。	無	政策企画課
3	第1章「災害対策・防犯・市民生活」 大柱2「生活」	目指す成果中の記載 「市民の葬祭が滞りなく行えるまちを目指します。」 ⇒市民の葬祭が滞りなく行うことができるまちとします。 ※「葬祭」については、目指すという言葉が適切かどうか確認した方がよいと思います。	「目指す姿」における記載のため、他の大柱の記述との整合性を図り、案のとおりとします。	有	地域づくり支援課
4	第1章「災害対策・防犯・市民生活」 大柱2「生活」 中柱3「安心できる葬祭の場の提供」	現状と課題について 「近年、葬儀形態の多様化により」 ⇒葬儀形態の多様化のほか、民間葬祭事業者利用ということもあるのでは。	ご指摘の部分も含めて、現状として認識しております。	無	地域づくり支援課

番号	見出し等	意見	回答	修正	所管課
5	第2章「健康・福祉」 大柱2「子育て支援・青少年育成」	子どもの権利保障についての記述が見当たらない。子どもの権利保障についての記載は、子どもの人権の尊重に含まれているのか否か、あるいは当該記述が必要ではないか。	子どもの権利保障につきましては、ご指摘のとおり、2章「健康・福祉」大柱2「子育て支援・青少年育成」中柱1子どもたちが健やかに育つ環境整備で取り扱う内容と考えており、その具体例として、主な取組において子どもの人権の尊重を記載しております。	無	こども未来課
6	第2章「健康・福祉」 大柱3「高齢者支援」	中柱2～4 現状と課題について 現状の記載がありません。必要性について検討願います。	中柱2の「自立のためのサービスの確立」の現状と課題について、「高齢者が自立した生活を営むためには、高齢者一人ひとりが健康づくり、介護予防に取り組みながら、生きがいを持って日常生活を過ごすことが重要です。また、要支援・要介護認定者数も年々増加傾向にあることなどを踏まえ、」を追記します。  中柱3の「安全・安心な生活ができる環境整備」の現状と課題について、「一人暮らしなどの高齢者のみ世帯の増加、認知症の高齢者の増加が見込まれる中、地域が一体となって、高齢者を支え合い、すべての高齢者が地域とつながっていくことが大切になっていくものと思われます。今後、」を追記します。  中柱4の「地域包括ケアシステムの推進」の現状と課題については、現行の記載のとおりとさせていただきます。	有	長寿はつらつ課
7	第2章「健康・福祉」 大柱4「障害者支援」 中柱2「地域における自立生活支援」	現状と課題について 「それぞれが抱える悩みや戸惑いは多様化しており、」 ⇒悩みや課題が多様化しており（戸惑いは悩みと同義では）	意見を踏まえて、「それぞれが抱える悩みや戸惑いは多様化しており」を「それぞれが抱える悩みや課題が多様化しており」に修正します。	有	障害福祉課

番号	見出し等	意見	回答	修正	所管課
8	第2章「健康・福祉」 大柱4「障害者支援」 中柱3「自立に向けた就労の支援」	「●障害のあるひとの経済面での～」に関する記述について ⇒どのような事柄に関連するのか、記載内容の意味が分かりにくいと思います。明確に記述しないと市民はわからない。	意見を踏まえ、本文に次の文を加えます。 「これにより、障害のある人の収入の増加に結びつけていく必要があります。」	有	障害福祉課
9	第2章「健康・福祉」 大柱5「保健・医療」 中柱1「健康づくりの支援」	現状と課題 私たちの心や体 ⇒私たちの心や身体	「体」を「身体」に修正します。	有	健康づくり課
10	第2章「健康・福祉」 大柱5「保健・医療」 中柱2「保険サービスの充実」	現状と課題 「そして、～」記述用語として「そして」以外の言い換えがよいと思います。	「そして」を「今後においても」に修正します。	有	健康づくり課
11	第2章「健康・福祉」 大柱6「社会保障」 中柱1「社会保障制度の適正な運営」	大柱6 中柱1 現状と課題 「●後期高齢者医療は～増加傾向となっている。」に関する記述。 ⇒「います。」	ですます調とである調の混在については修正いたします。	有	保険年金課
12	第3章「教育・文化」 大柱2「生涯学習」 中柱2「学びを支える環境の充実」	現状と課題において「生涯学習施設には学びを継続的に支援する専門的な職員などの配置が必要」とあるが、職員の配置という内部的な課題よりも、大学や研究機関、民間企業や市民団体などと連携し、市民の学びに応える環境整備に力を入れるべきではないか。その方が広がりを感じられる。 配置を課題にするなら、専門的なスキルを保持するためのシステム、体制づくりを課題とすべきではないか。	生涯学習施設に配置される専門的職員としては、図書館には司書、博物館には学芸員、公民館には社会教育主事などがあげられます。 ご指摘の「大学や研究機関、民間企業や市民団体などと連携し、市民の学びに応える環境整備に力を入れる」ためには、まさしくこれら機関、団体との結節点となり、時には必要とされる専門的情報を提供し、ともに考える人材としての専門的職員が必要になってきます。 この専門的職員については、外部から新しく配置するだけでなく、内部職員が研修し、資格を取得することで任命することが可能になる職種もあるので、職員の自覚と自己研修をうながすシステムづくりを目指し、「学びを支える環境の充実」に努めてまいります。	無	中央公民館、 図書館、 文化財課

番号	見出し等	意見	回答	修正	所管課
13	第4章「環境・コミュニティ」 大柱1「環境」 中柱2「低炭素・循環型社会の推進」	現状と課題について 「環境に負荷を与えない社会」 ⇒環境への負荷を低減する社会 ※負荷ゼロはありえるのか また、現状の記載がありません。	ご指摘を踏まえ、次のとおり修正します。  ●地球温暖化の原因となる温室効果ガスの増加は、気候変動を引き起こし、生態系にも大きな影響を与えています。持続可能な社会を構築するためには、市民・事業者・行政が共通認識の下、相互に連携を深め、環境に配慮した活動を推進するとともに、温室効果ガスの排出抑制に取り組むことが必要となります。	有	環境推進課
14	第4章「環境・コミュニティ」 大柱3「コミュニティ」 中柱2「活動施設の充実」	現状と課題 現状の記載がないがよろしいか。	施設の老朽化など、現状、課題とも含め、記載している認識でございます。	無	地域づくり支援課 コミュニティセンター
15	第4章「環境・コミュニティ」 大柱4「市民活動」	中柱1, 2 現状と課題 現状の記載がないがよろしいか。	中柱1については、地域の課題解決に向けて、様々な分野の市民活動が広がっていることを現状として、また、中柱2については、市民活動の拠点施設、維持管理を行うことなど、現状、課題とも含め、記載している認識でございます。	無	地域づくり支援課
16	第5章「都市基盤・産業振興」 大柱3「緑・景観・環境共生」 中柱2「うるおいのある生活環境づくり」	現状と課題 「ポテンシャル」 ⇒言いかえが必要ではないか。	ご意見を踏まえ、「潜在的な能力」に修正します。	有	みどり公園課
17	第5章「都市基盤・産業振興」 大柱3「緑・景観・環境共生」 中柱4「循環型社会を目指した環境にやさしいまちづくり」	現状と課題 現状の記載がないがよろしいか。	ご意見を踏まえ、現状として「●日常生活や事業活動による環境負荷の増大が地球の環境にさまざまな影響を及ぼしています。環境への負荷の少ない持続可能な社会を構築するうえで地球温暖化防止や循環型社会の構築は早急に取り組むべき課題となっています。」を追記します。	有	みどり公園課

番号	見出し等	意見	回答	修正	所管課
18	第5章「都市基盤・産業振興」 大柱5「上下水道整備」 中柱2「公共下水道の整備」	下水道インフラが今後一斉に老朽化し、更新に係る費用が膨大になることが見込まれる。今後の対応が急務である。	令和元年度に、下水道施設の修繕・改築の計画である下水道ストックマネジメント計画の策定を行いました。 今後はこの計画に基づき、ライフサイクルコストの縮減や、予防保全型施設管理の導入による安全の確保等、計画的な維持・修繕及び改築を行っていく予定です。	無	下水道課
19	第5章「都市基盤・産業振興」 大柱7「産業活性化」 中柱3「企業誘致の推進」	現状と課題 文章に区切りを、設けた方がわかりやすいと思います。	一文となってはおりますが、その中で必要最小限の表現をもって市の特徴、問題点及び解決に向け必要な視点を述べておりますので、現状のままの文章で進めてまいります。	無	産業振興課
20	第6章「基本構想を推進するために」 大柱1「男女平等」 中柱1「男女平等の意識づくり」	現状と課題 「～感じている人や不平等を感じている人など～」 ⇒「など」とは？ 感じている人や不平等などを感じている人  また、「性の多様化」に関する記述に、背景の記載がありません。	文中：「～感じている人や不平等を感じている人など」の部分、「～根強く残っており、日々の生活の中で、無理解や偏見による不平等や生きづらさを抱えている人がいます。」に修正します。 また、「性の多様性」の記述として「誰もが持ち合わせている性の指向や自認に関しての無理解や偏見による差別をなくしていくため、「性の多様性」の正しい理解に向けた取組が求められています。」と追記します。	有	人権庶務課
21	第6章「基本構想を推進するために」 大柱3「多文化共生」 中柱1「外国人市民が暮らしやすいまちづくり」	現状と課題 今後、外国人市民が増えていくことへの認識、課題の記載がありませんが、当該視点が必要ではないでしょうか。	ご指摘を踏まえ、「～多くの外国人市民が本市に在住しています。」を「～多くの外国人市民が本市に在住しており、今後、さらに増加することが想定されます。」に修正します。	有	地域づくり支援課
22	第6章「基本構想を推進するために」 大柱5「行財政」 中柱6「シティ・プロモーションの展開」	シティ・プロモーションが今後どのような方向に進んでいくのか読み取れなかった。今後の方向性を明らかにしてほしい。	後段について、以下のとおり修正します。 ■修正後 今後、シティ・プロモーションの方針を策定し、当該方針に沿って、市民、関係機関、市内外事業者等と協力、連携しながらプロモーションを展開していく必要があります。	有	シティ・プロモーション課

番号	見出し等	意見	回答	修正	所管課
23	その他	計画に関する業務量が大きな負担となっています。	<p>厳しい財政状況の中、多様化する市民ニーズに応え、持続可能な行財政運営を行っていく必要があります。そのために、市民の意見を取り入れながら計画づくりを進めるとともに、行政が計画通りに事務を執行していることの説明責任を、行政評価を通して果たしていくことが求められています。引き続き、計画に係る業務に御協力くださいますようお願いいたします。</p> <p>政策企画課においても、計画に係る所管課の業務負担を減らすための効率化の仕組みづくりに取り組んでまいります。</p>	無	政策企画課
24	その他	市の人口は今後増加し、その後減少するとの統計になっています。しかし、増えるという根拠が少々乏しいように感じました。他市町村がベッドタウンとして力を入れて有名になるなど、朝霞市への人口流入が緩やかになる事態も考えられます。そのような状況に備え、若者人口を呼び込む積極的な施策を検討すべきと考えます。	<p>平成30年に国立人口問題・社会保障研究所が行った推計でも、東京近郊にある朝霞市の人口は今後しばらくは増え続け、ピークを迎えた後、減少に転じることが試算されています。</p> <p>本市の人口動態からは、大学進学及び就職を機に本市に多くの方が転入する一方、子どもの就学を境に世帯全体で転出している流れが見えております。平成27年度に朝霞市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定して、地域の魅力を高めるシティ・プロモーション等の施策に取り組んでおり、人口減少の克服について、引き続き、施策の検討と推進に取り組んでまいります。</p>	無	政策企画課
25	その他	各章の内容はすばらしいのですが、朝霞市が何に力を入れてまちづくりを進めるのか、はこれから見えてくるものなのでしょうか。	<p>第5次朝霞市総合計画基本構想では、既に、将来像「私が暮らしたつづけたいまち 朝霞」を掲げるとともに、将来像実現のため、朝霞市は4つの基本概念「安全・安心なまち」、「子育てがしやすいまち」、「自然・環境に恵まれたまち」、「つながりのある元気なまち」が充足されることを念頭において、まちづくりに取り組むこととしています。基本構想と後期基本計画との関連が明らかになるようにしながら、今後の策定作業を進めてまいります。</p>	無	政策企画課

番号	見出し等	意見	回答	修正	所管課
26	その他	市民の意向調査や子ども達の声が、今後のまちづくりにどのように反映され、活かされるのか、分かり辛い感じがした。	市民意識調査等で得た市民の意見が後期基本計画にどこにどのように活かされるのかについては、資料にまとめ、総合計画審議会や職員説明会等で示している状況です。 また、骨子（案）の検討過程においても市民の意見を反映しており、施策の大柱の「目指す姿」については、具体的に市民からどのような意見があって導き出されたものか、その詳細が見える形で資料にまとめています。	無	政策企画課